

道総研の企業等への支援

私たち北海道立総合研究機構^{どうそうけん}（道総研）は、農業、水産、森林、産業技術、エネルギー・環境・地質、建築・まちづくりといった幅広い分野で、研究や技術支援を行っている公設試験研究機関です。

技術支援

道総研では、これまでの研究成果や技術・知見・試験設備を活用し、企業や事業者の皆様の技術的な課題等の解決支援を、年間約1万件以上実施しています。

(2024年度実績)

支援区分	支援内容	実施件数	主な実施内訳
技術相談	技術に関連する質問や疑問にお答えします	8,863	工業 35.0%、農業 21.7%、食品加工 16.9%
技術指導	技術的な問題の解決に向け指導します	1,394	農業 53.0%、水産 15.8%、エネルギー・環境・地質 11.9%
設備使用	道総研が所有する試験機器などの設備を利用できます	1,000	工業 70.1%、食品加工 12.5%、森林 7.3%
依頼試験	試験、分析、測定等を行います	389	工業 45.8%、建築 12.9%、農業 12.6%

試験設備の例



食品ロボット実証ラボ



レトルト殺菌機



電波暗室



防耐火試験装置

他にも使用可能な設備・機器、依頼試験があります。ホームページをご覧ください。総合相談窓口へお問い合わせください。

北海道立総合研究機構
総合相談窓口【法人本部内】

☎011-747-2900 📠011-747-0211

ご相談は
無料です



連携の取組 ～北海道イノベーションプラットフォーム～



道内事業者の経営革新や事業再構築、新技術開発などイノベーションへの取組を推進するため、4つの機関が連携し全面的に支援します。

道総研は、創造発掘（技術支援、調査分析、試験研究開発）を担当しています。



研究成果のご紹介
(裏面へ)



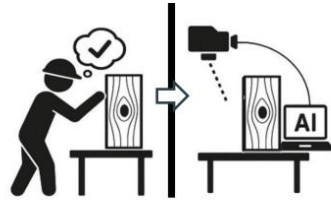
最近の研究成果のご紹介

そのほかの研究成果は
こちらからご覧ください



●AIによる広葉樹内装材選別の省力化

広葉樹内装材生産における人手不足を緩和するため、選別・検品作業の省力化・省人化が可能なシステムを研究開発しました。



『熟練者の目』から『AIの目』へ

●多品目の野菜に対応可能な収穫技術の開発

専用の収穫期より安価に入手可能で、生産者の負担軽減や路地野菜の作付面積の維持が可能なコンバヤキャリアを開発しました。



コンバヤキャリアによる収穫作業

●「これからの地域運営実践ガイド」の構築

「人口減少を前提とした持続可能な地域運営の体制づくりが必要だが、何からどう取り組めばよいかわからない」という地域の声を受け、地域運営実践ガイドの作成や支援体制を整備しました。



令和7年3月に開催したフォーラムの様子をYouTubeチャンネルでご紹介しています



実践ガイド



Webサイト公開
<https://hokkaido-rm.com/>

商品化の事例

そのほかの事例は
こちらからご覧ください



地元の厄介ものを地元の特産品に

Yachi Mussels Hokkaido
余市ムール

余市ムール（ムール貝養殖）

外来種かつ迷惑生物であったムール貝の養殖業を創出するため、技術開発と事業展開に関する研究を実施。特有の臭みがなく磯のいい香りがするとして、今では地元の特産品になりました。

余市郡漁業協同組合
後志地区水産技術普及指導所
余市町
道総研中央水産試験場

寒冷地でも威力発揮。車両突入から人々を守るバリケード

車両突入阻止バリケード「HERCULES/ヘラクレス」

イベント時など万が一の事故に備えた警備強化のために開発されたのが、車両突入阻止バリケード。コンパクトに折り畳め、設置・撤収しやすい構造です。

(株) 白石ゴム製作所
トライ・ユー (株)
道総研工業試験場

漁獲量が急増！ブリの消費拡大を目指して

「函館ブリ塩ラーメン」

脂のりが少ない道産小型ブリを活かしたブリ節と塩味スープに調和するよう配合したブリエキスにより飽きのこない味わいを実現。

※令和4年度「北海道新技術・新製品開発賞（食品部門）」大賞

(一社) Blue Commons Japan
道総研食品加工研究センター

動画で見る研究成果

研究成果をより分かりやすく伝えるため、動画での情報発信も行っています。最新の動画では、エネルギー研究に関連する取組をご紹介します。



動画はこちら



SNSやホームページでも情報発信しておりますので、ぜひご覧ください。

